

三階三子春
少一階のり一進古
心算に中算記録
と進長英博と所伝
此に米倉守四喜の
紙本も一冊計の書
但し米倉守四喜の
具宣堂蔵の二冊分
亦一冊のり一進古
のり一冊計の書
何れも一冊計の書
漢蔵のり一冊計の書
其書二冊分
お福のり一冊計の書
此書一冊計の書
左巻し右巻し
そのり一冊計の書
分のり一冊計の書
このり一冊計の書

つり子
のり一冊計

河島長平
のり一冊計





文庫14
C129

假名垣魯文手東

河竹默默阿彌宛

この書筒は明治十四年頃のものといわれる。魯文が戸田欽堂を豊河跡に紹介せる一文あり。欽堂著、董分東風英軍記の
河竹黙阿弥翁校正と銘打ちて公刊し、いづる狂歌の書筒に作りて始めて明治の事なり。欽堂のこの書筒に於ては、
明治文學史のさか記すやこゝあり。
昭和十一年七月
河竹久松よりす

五巻

